

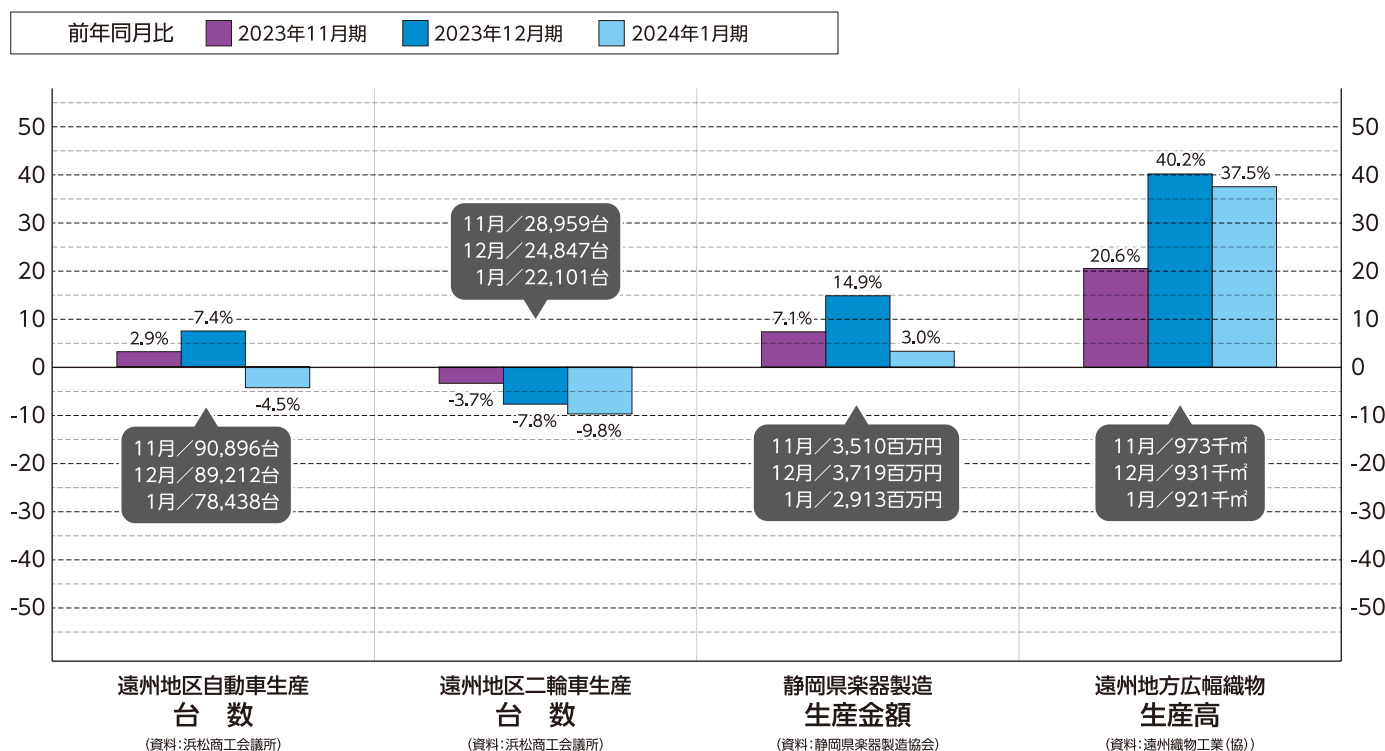
データで見る経済の動き

浜松地域の経済動向

2024年
1月を中心に製造業は自動車・二輪車が減少、
非製造業も能登半島地震の影響を受けて伸び悩んだ。

自動車の生産台数は、ダイハツの認証不正問題の影響を受けて11カ月ぶりに減少。二輪車のコロナ特需はピークを過ぎて、減少傾向が続いている。楽器の生産金額は好調を維持し、繊維も前年同月を6カ月連続で上回った。運輸業は、1月上旬はホテル催事や新年会等で忙しかったが、中旬を過ぎると夜の中心街の人流が減り、運送収入は伸び悩んだ。能登半島地震の影響を受けてホテルの催事を控える傾向が見られた。有効求人倍率は高く、人手不足が懸念材料となっている。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年1月における遠州地区の自動車生産台数は前年同月比4.5%減の7.8万台となり、11カ月ぶりに減少となった。ダイハツの認証不正問題の影響を受けて減少になったと思われる。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は8.4%減、小型四輪車は9.8%増、普通自動車は89.1%減となり、普通自動車的大幅減少が全体を押し下げた。国内向けは10.9%減となったが、輸出は19.7%増で5カ月連続の増加となっている。

二輪車



2024年1月における二輪車生産台数は前年同月比9.8%減の2.2万台となり、コロナ特需はピークを過ぎて7カ月連続の減少となった。国内向けは34.8%減となり3カ月連続で減少、輸出は7.5%減で7カ月連続の減少となっている。排気量別では、50cc以下15.4%減、51cc～125cc以下5.7%減、126cc～250cc以下22.5%増、251cc以上13.4%減となり、好調だった251cc以上の大型バイクについても減少傾向にある。

楽器



2024年1月における楽器生産金額は前年同月比3.0%増の29.1億円となり、19カ月連続で前年同月を上回っている。5カ月ぶりに30億円を下回ったが、1月は稼働日数が少ないため例年生産金額は落ち込む。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ17.5%減、電子・電気ピアノ62.7%増、電子オルガン60.5%減、管楽器14.8%増となっている。

繊維



2024年1月の生産高は前年同月比37.5%増の921千㎡となり、6カ月連続で前年同月を上回った。コロナ禍からは回復基調にあるが、コロナ禍以前の水準への回復には至っていない。アパレルなどがモノを作り過ぎない、在庫リスクを避ける傾向が強まり、その結果、小ロット・短納期の受注が主になっている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年1月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比2.8%減の26.7万人となった。1月上旬は、ホテルの催事や新年会・同窓会も多くあり、運送収入増につながった。しかし、中旬を過ぎると夜の中心街の人も減り、運送収入は伸び悩んだ。

観光

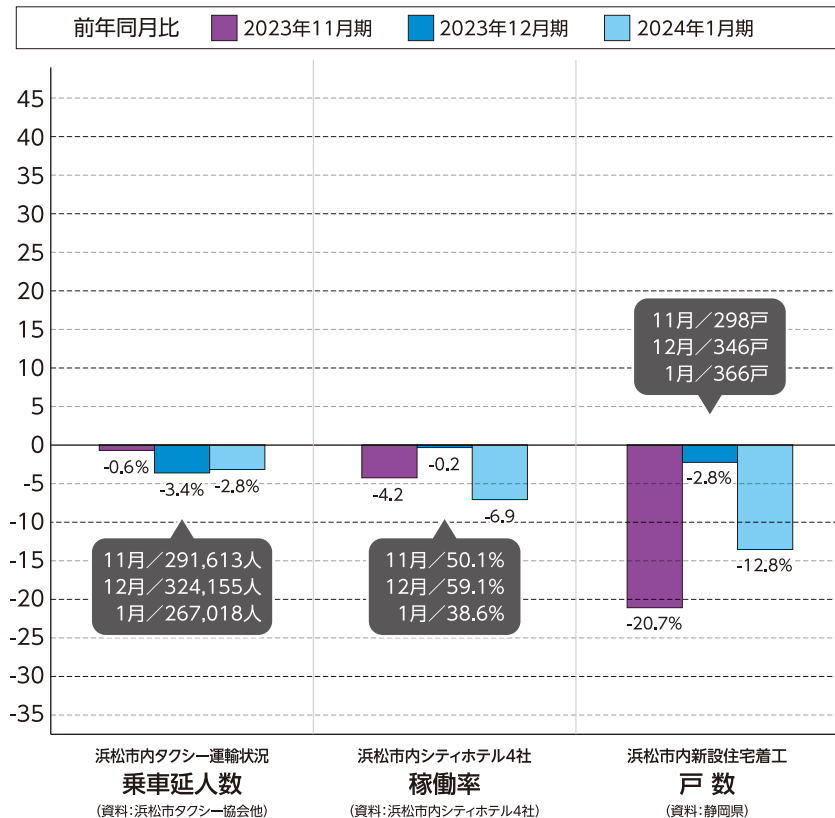


2024年1月の浜松市内ホテルの稼働率は38.6%であった。団体・個人客とも伸び悩む状況であった。また、大きな催し物は、能登半島地震で控える傾向も出てきており、宿泊稼働率にも影響が出たと考えられる。

住宅着工



2024年1月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比54戸(-12.8%)減少の366戸となった。内訳をみると、持家は180戸、貸家108戸、分譲住宅は77戸であった。持ち家は5戸減少し、貸家は5戸の増加であったが、分譲住宅は54戸の減少であった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年1月の有効求人倍率は1.40倍となり、前年同月との比較では0.09ポイント上回り、前月との比較では0.05ポイント下回った。全国(1.27)との比較では0.13ポイント、静岡県(1.21)との比較では0.19ポイント上回っている。浜松市の雇用情勢は、全国および静岡県よりも「売り手市場」となっており、人手不足が懸念材料になっている。

倒産企業



2024年1月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は55件、金額は6.4億円だった。前年同月との比較では件数が20件、金額も3.1億円の増加となった。代位弁済件数は6カ月連続で前年同月を上回り、金額も3カ月連続で上回っている。件数・金額とも増加傾向にあり、資金繰りが悪化している企業が増えている。

ガソリン価格



2024年1月第1週のレギュラーガソリン価格は1リッター当たり176.9円だった。前年同月との比較では9.5円増加、先月との比較でも1.5円の増加となった。2カ月連続で175円超となり、2023年10月以来の176円台まで高騰した。ガソリン価格の上昇は企業活動や家計を押し出し、資金繰りや消費に影響を及ぼしている。

外国為替



2024年1月の外国為替は1ドル146.57円となり、前年同月との比較では16.37円の円安となった。前月との比較でも2.50円の円安となり、再び円安傾向に推移した。

